

アイプレート SN

硫酸錫めっき用光沢剤（静止・回転浴用）



株式会社アイコー

<特長>

- ◇ プリント基板や集積回路部品、半導体部品、電子機器部品、通信機械部品、装飾品などの幅広い品物のめっきに適しています。
- ◇ 美しい鏡面光沢が得られます。
- ◇ つきまわり、均一電着性に優れています。
- ◇ 2A/dm²で2分間の通電の時、2.5μmの光沢めっきが析出します。
- ◇ 低電～高電まで幅広い電流密度域で光沢になるので、浴管理がとても簡単です。

<使用方法>

		範囲	標準	
浴組成	金属錫	5～25g/L	15g/L	
	硫酸	80～120mL/L	100mL/L	
建浴組成	硫酸第一錫	15～45g/L	30g/L	
	硫酸	75～120mL/L	100mL/L	
	光沢浴	アイプレート SN M-1	—	20mL/L
		アイプレート SN M-2	—	5mL/L
		アイプレート SN	1～2mL/L	—
	半光沢浴	アイプレート SN M-1	—	20mL/L
		アイプレート SN M-2	—	5mL/L
		アイプレート SN	0.2～0.5mL/L	—
無光沢浴	アイプレート SN M-1	—	20mL/L	

		範囲	標準
処理温度		13～30℃	20℃
陰極電流密度	静止浴	0.5～3.0A/dm ²	1.0A/dm ²
	回転浴	0.1～2.0A/dm ²	0.5A/dm ²
陽極電流密度		0.1～3.0A/dm ²	1.0A/dm ²

攪拌	静止浴	: 陰極揺動（1～8m/分）
	回転浴	: ろ過機による循環
ろ過	: 耐酸性ろ過機で連続ろ過	
冷却装置	: テフロン製、テフロンコーティングしたステンレス製冷却コイルなど	
処理槽	: ポリエチレン、ポリプロピレン、ネオプレン、PVC、耐酸 FRP 内張りのスチール槽など	
陽極	: 99.99%以上の錫	
アノードバッグ	: 使用する場合はポリプロピレン製など	

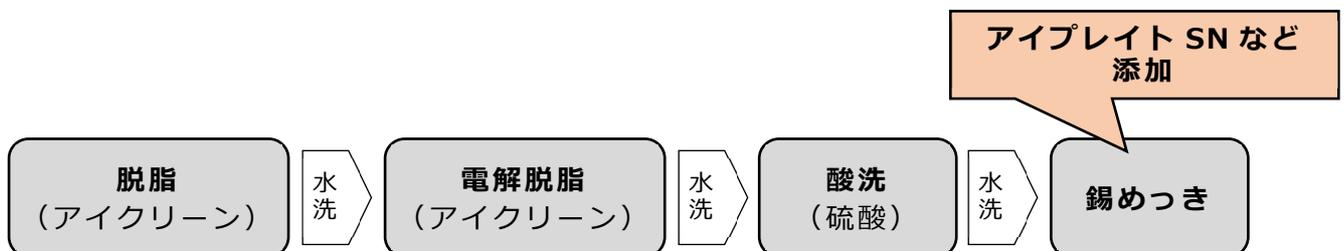
◇光沢剤の電解消耗量

光沢錫	アイプレート SN M-1	: 50mL/1000Ah
	アイプレート SN M-2	: 50mL/1000Ah
	アイプレート SN	: 200mL/1000Ah
半光沢錫	アイプレート SN M-1	: 50mL/1000Ah
	アイプレート SN M-2	: 50mL/1000Ah
	アイプレート SN	: 50~100mL/1000Ah
無光沢錫	アイプレート SN M-1	: 75mL/1000Ah

◇建浴方法

- ①めっき槽を洗浄後、必要量の半量の水を加えます。
 - ②攪拌しながら、必要量の硫酸をめっき槽にゆっくり加えます。
 - ③硫酸の希釈熱で浴温度が上がるため 40℃以下に冷まします。
 - ④必要量の硫酸第一錫を水でスラリー状にしてから、静かにめっき槽へ加えます。
 - ⑤所定量近くまで水を加えます。
 - ⑥浴温度を 24℃以下に冷ましてから、M-1、M-2、アイプレート SN の順に加えて、よく攪拌します。
- ※アイプレート SN は水で希釈してから加えてください。
※建浴時にアイプレート SN クラリファイヤーを 5~10mL/L 程度加えると、めっき液が安定し、より良い光沢が得られます。

<処理工程>



<管理方法>

◇金属錫の濃度

- めっき浴中の金属錫が 11g/L 以下なら、高電流密度部分での効率はやや低下しますが、低電流密度部分においては良好な均一電着性と光沢が得られます。
- 金属錫が 22g/L 以上になると効率は高くなりますが、低電流密度部分での均一電着性と光沢性は低下します。

◇補給量

アイプレート SN の補給量は 2800~3000Ah/L です。

◇浴温度

27℃以上になると低電流密度部分の光沢が低下します。

◇その他

- 塩素や亜鉛が混入しないように注意してください。
- 銅・ニッケル・鉄に直接錫めっきを行うことは可能ですが、黄銅など亜鉛を含む合金はあらかじめ数μm の銅またはニッケルめっきを施してください。
- 金属錫や硫酸の各濃度は湿式分析により管理できます。

<性状>

比重 アイプレート SN : 1.02~1.06
アイプレート SN M-1 : 1.01~1.03
アイプレート SN M-2 : 1.01~1.03

<注意事項>

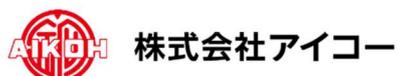
取扱いの際は保護具を着用してください。

眼に入れたりしないように注意してください。万一、眼や皮膚に付着した場合は多量の水で洗い流し、医師の手当を受けてください。

その他、安全データシートをよく読んでから使用してください。

<荷姿>

20kg BIB 容器



<http://www.aikoh-japan.com>

本 社 〒335-0033 埼玉県戸田市笹目北町13番地23
TEL: 048-421-8600 FAX: 048-485-8612
大 阪 営 業 所 〒581-0061 大阪府八尾市春日町3丁目2番10号B
TEL: 090-6915-1888 FAX: 072-920-7999
TEL: 090-1406-2068